

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公開番号】特開2000-226348(P2000-226348A)

【公開日】平成12年8月15日(2000.8.15)

【出願番号】特願平11-318739

【国際特許分類】

C 07 C	27/06	(2006.01)
C 07 C	29/152	(2006.01)
C 07 C	31/04	(2006.01)
C 07 C	41/01	(2006.01)
C 07 C	43/04	(2006.01)
C 07 B	61/00	(2006.01)

【F I】

C 07 C	27/06	
C 07 C	29/152	
C 07 C	31/04	
C 07 C	41/01	
C 07 C	43/04	
C 07 B	61/00	3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月16日(2006.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

表1

比較合成における各組成

流れ図位置 例番号	補充合成ガス			メタノール合成機能流出物			凝縮液		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3
成分(モル%):									
H <sub>2</sub>	6.23			50.30	58.18	51.78	0.55	0.47	0.60
CO		24.6		7.08	4.66	5.78	0.15	0.10	0.10
CO <sub>2</sub>		5.15		6.79	7.40	7.66	2.20	4.41	2.90
不活性物質		3.77		18.02	18.78	17.16	0.74	0.61	0.59
MeOH				8.38	2.13	8.04	29.60	28.88	30.15
DME				8.04	6.03	7.71	24.38	26.87	24.78
H <sub>2</sub> O	0.18			1.39	2.82	1.87	42.38	38.66	40.88

メタノール合成機能流出物は、合成ガスからメタノールを合成する活性を有する触媒を含有する最後の触媒床を該流出物が離れる位置、即ち例1では第二の反応器R2の第一の触媒床、例2では第三の反応器R3そして例3では第一の反応器R1における合成ガスの組成である。この組成は最大の水濃度を証明するために示しており、メタノール合成機能

触媒をそれぞれの合成例において使用する。

表 2

供給 / 生産 - 指数	循環 / 補充 - 合成ガス比	生成物総モル比 * (DME/MeOH)	触媒容積 指數
例 1      1 0 0 / 1 0 0	2 . 5 8	1 . 0 2	1 0 0
例 <u>2</u> 1 0 0 / 1 0 0	3 . 6 0	1 . 0 2	1 2 1
例 <u>3</u> 1 0 0 / 1 0 0	2 . 6 5	1 . 0 2	1 1 0

\* ) 含まれる生成物はバージガス流から容易にかつ安価に得られる。